



インクルーシブ社会を実現する架け橋となる
～誰もが笑顔で暮らせる社会へ～

VOL. 12
2026.04.01

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

新緑の季節、キャンパスに満ちる新たな希望

～39名の賛助会員様と共に歩む、知的障害者の高等教育保障への道～

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川 美栄

柔らかな春の光とともに、新しい年度が始まりました。木々の芽吹きに生命の力強さを感じるこの佳き日に、私たちは新たな仲間を迎えられたことを心より嬉しく思います。

今年度、みらいカレッジ三島キャンパスには6名、宇美キャンパスには1名の新入生が入学いたしました。環境の変化にドキドキしたり、不安や緊張を感じたりする様子も見受けられますが、私たちはその一歩を大切に见守り、一人ひとりの「学びたい」という意欲に寄り添いながら、共に歩んでまいりる所存です。

また、私たちの活動を支えてくださる法人賛助会「架け橋の会」におきましては、現在39名の方々にご入会いただいております。皆様からの温かなお力添えは、利用者さんの日々の活動や挑戦を支える大きな原動力となっております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。今後とも、私たちの活動の趣旨にご賛同いただき、さらなるご入会・ご支援を賜れましたら幸いです。

さて、本年度、私たちは大きな決意をもって新たな一歩を踏み出します。本法人の元代表である長谷川正人は、現在、神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 博士課程において、日本における障害者生涯学習の第一人者である津田英二教授の研究室に所属しております。そこで、知的障害者の高等教育保障やインクルーシブ教育について専門的に研究を進めております。

これまでも現場の職員が試行錯誤を重ね、オリジナルの教材づくりに取り組んでまいりましたが、今後はこの研究活動とも深く協働し、日本の知的障害者が当たり前にならる大学等の高等教育の場で学び、自己研鑽に励むことができる仕組み作りに専念いたします。「学び」は人生を切り拓く力であり、その権利はすべての人に等しく保障されるべきものです。専門的な知見と現場の実践という両輪で、誰もが学び続けられる社会への道を切り拓いていきたいと考えています。

今月、三島キャンパスでは地域交流の場として「さくら祭り」への出店も予定しています。こうした地域での小さなつながりから、より大きなインクルーシブ社会への架け橋を築いていく。その決意を胸に、職員一同、笑顔あふれる一年を過ごしてまいります。

本年度も、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

郊外行事：MARK IS 福岡ももち



いくらかな？



今回の郊外行事は、福岡でも観光地である、「MARK IS福岡ももち」へ行ってきました。短い時間を有効活用するために、事前に行きたいお店や、食べたいもの等を各班で話し合いをして、出発🚗「ラーメン食べたい」、「マックがいい」、各班それぞれ案を出し、考え、思いやりある言葉をかけあいながら、楽しい時間を過ごされていました♡

ここでしか食べられない、たい焼きは絶品だったようです♪それぞれ充実した時間をすごせました。



えーん



悩むな…



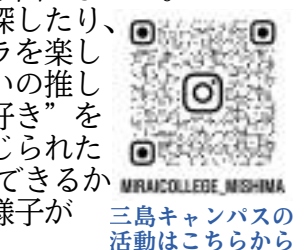
宇美キャンパスの活動はこちらから

余暇活動と研修旅行

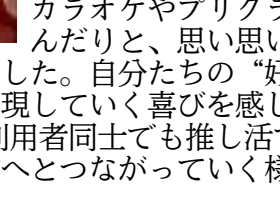
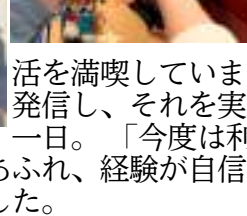
今年度のまとめとして、三島キャンパスでは就労移行支援の利用者2名が宇美キャンパスを訪れ、交流や職業体験、グループホームでの宿泊体験、福岡観光、そして本場の博多とんこつラーメンを味わう旅に参加しました。初めての経験ばかりでドキドキしながらも、一つひとつの出来事が不安から達成感へと変わっていく姿が印象的でした。旅の中で見せてくれたキラキラとした表情から、自己実現に向けた大きな一歩と、この一年間の「マナビの集大成」を感じることができました。



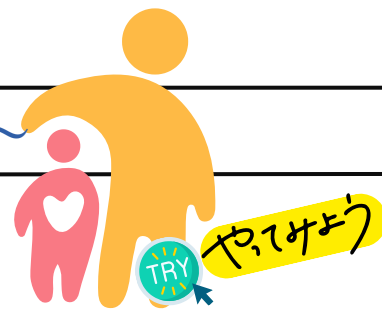
留守番組の自立訓練の利用者は、余暇活動として「推しごと」に出かけました。それぞれがステキな目標を立て、沼津の街へ繰り出しました。アニメイトで推しグッズを探したり、カラオケやプリクラを楽しんだり、思い思いの推し活を満喫していました。自分たちの“好き”を発信し、それを実現していく喜びを感じられた一日。「今度は利用者同士でも推し活できるかも！」と笑顔があふれ、経験が自信へとつながっていく様子がとても印象的でした。



三島キャンパスの活動はこちらから



三島キャンパス：職業基礎 ～大人と子供～



三島キャンパスの自立訓練では、自立を目指すうえで段階的に理解を深める授業を行っています。今回はその第一歩として、「大人と子ども」の違いについて考える時間を設けました。

授業の導入では、まず「あなたが思い浮かべる“大人”とはどんな人ですか？」という問いかけからスタート。尊敬する人でも、身近な人でも、思い浮かんだ“大人像”を自由に書き出してもらいました。そして、その理由を一人ひとりが発表していくと、空欄いっぱいになんだ名前は——お父さんやお母さんだけではなく、なんとみらいカレッジの職員たち。その瞬間、教室には少し照れくささと、背筋が伸びるような嬉しさが広がりました。日々の関わりが、利用者の皆さんの中で“憧れの大人像”として積み重なっていることを実感できる、心温まる場面でした。

続いて、授業は「お金」「責任」「自由」などの具体的なテーマに踏み込み、大人と子どもの違いを比較しながらディスカッションへ。「大人は自由だけど、その分責任がある」「子どもは守られているけれど、できることは限られる」など、皆さんからは多様な視点が次々と飛び出し、教室は活発な意見交換の場となりました。自立を考える

うえで欠かせないのは、単に“できることを増やす”だけではなく、自分の行動を自分で選び、責任を持つという“自律”の視点です。今回の授業では、その入口に立ちながら、自分の未来をどう描くかを考えるきっかけが生まれました。利用者の皆さんが真剣に、そして楽しそうに語り合う姿から、確かな成長と、これからの可能性を強く感じる事ができたひとコマでした。



カレッジのひとコマ

～現場の気づきから生まれた教材のかたち～

みらいカレッジでは、各プログラムごとにオリジナルのテキストを用意しています。

これらの教材は、立ち上げ当初に現場職員が試行錯誤を重ね、数か月をかけて10教科分を作り上げたものです。

それから約1年。

日々のプログラムの中で実際に活用する中で、「もっと取り組みやすくできるのではないか」「自立や就労に向けて、この内容も必要ではないか」といった改善の視点が積み重なっていきました。



そうした声を形にするため、三島キャンパスの職員が中心となり、テキストの見直しに取り組みました。現場の実践をもとに構成を整理し、内容をブラッシュアップ。さらに新たに就労移行支援のプログラムもテキスト化されました。

「これで分かりやすいかな」

「この流れの方が取り組みやすいかもしれない」

と、今回も一つひとつ丁寧に検討を重ねながら完成した教材です。



三島キャンパスの職員は、どんな時でも前向きに工夫を重ねながら取り組む姿が印象的です。その姿勢は、利用者さんにも自然と伝わり、日々の活動の力になっていると感じます。

テキストの内容にご興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。実際のプログラムの中で、どのように活用されているかをご覧ください。

宇美キャンパス：生涯学習コース F・Kさん



みらいカレッジに来る前や、はじめて来たときの気持ちを教えてください。

A 別の施設でお仕事していました。楽しみでした。



みらいカレッジで好きな時間や、楽しいと感じること、頑張っていることを教えてください。

A 運動、特にウォーキングが好きです。
出向先でお仕事している時が楽しいです。
チラシの作業を頑張っています。



職員との関わりの中で、うれしかったことはありますか？

A 褒められたときです。



前よりできるようになったことや、周りの人から言われてうれしかったことを教えてください。

A 時間を守るようになれました。
お父さんや、お母さんやお姉ちゃんに頑張ったねと褒められました。



これからやってみたいことや、どのように過ごしたいか教えてください。

A 行事等でたくさん買い物に行きたいです。
これからもチラシの仕事をたくさん頑張りたいです。



法人事務局 事務 山本 美代さん

～仕事を通して感じていることや変化、印象に残っている出来事、事業所の魅力についてお話をうかがいました～



直接支援をしているわけではありませんが、職員として福祉の仕事に関わる中で、障がいのある方の状況や福祉サービスについての知識が以前より増え、自然と関心を持つようになりました。

その学びを通して、福祉社会のあり方について考える機会も増えたと感じています。

そうした中で、印象に残っている出来事があります。

下肢を鍛えるために毎日歩行訓練に取り組まれている利用者さんに、いつもは見守るだけなのですが、先日応援の声かけをしましたところ、とても喜ばれ、笑顔を見せてくださいました。

後日、その声かけが励みになったと伺い、嬉しく感じましたし、気持ちを伝えることの大切さが心にしみた出来事でした。

このような経験を通して感じていることがあります。

当たり前のことかもしれませんが、利用者さん一人ひとりに寄り添った支援ができているところが、この事業所の魅力だと感じています。

それぞれ個性や状況が異なる中で、ニーズやストレスの原因をくみ取りながら、その場に合った柔軟な対応をしているところは、とても大切な強みだと思っています。

宇美キャンパス 管理者 武田由美



4月を迎え、新年度・新生活がスタートしました。この時期は、新しい環境や新しい出会いなど、新たな気持ちでの出発地点となり、期待や希望に満ちあふれた想いが多くあると思います。しかし、そのような想いと同時に、不安な気持ちになることもあるのではないのでしょうか。

また、この季節は自律神経が大きく乱れやすい時期でもあります。先日、精神障がいについての研修に参加しました。講義の中で、現在、精神疾患で受診される患者は年々増えており、分類別で圧倒的に多いのは気分障害（感情障害）、いわゆるうつ病であるとの報告がありました。気分障害は特定の原因ではなく、複数の要因が絡み合うことで発症するとされています。

- ・脳内の変化…神経伝達物質（セロトニン、ノルアドレナリンなど）の低下が推定される
- ・環境的要因…職場や家庭のストレス、人間関係のトラブル、環境の変化
- ・性格的要因…真面目、完璧主義、責任感が強いなど
- ・身体的要因…疲労、睡眠不足、他の身体疾患など



また、近年若い世代で増加傾向にあるのが適応障害です。こちらは、特定のストレス要因（職場、人間関係、ライフイベントなど）にうまく適応できず、抑うつ気分や不安、不眠、頭痛・めまいなどが現れ、日常生活に支障をきたす疾患です。

明確なストレスの原因があるため、そこから離れることで改善する傾向にあるといわれています。しかし、放置することで慢性化や、うつ病へ移行する可能性もあるため、早めの受診が重要です。

いつ、誰が発症するか分かりません。一人ひとりが問題や悩みを抱え込まないように、話しやすい環境をつくりながら、セルフケア・ラインケアを心がけていきたいと思っています。

No.10：三島キャンパス 就労コース TNさんご家族

入学前は、不登校の経験や息子の特性もあり、新しい環境に馴染めるのか、安心して通えるのか、そして周りの方にご迷惑をかけてしまわないかと、不安が尽きませんでした。進路を考えるうえでは、何よりも息子のペースを大切にしてくれること、そして安心して過ごせる環境であることを重視していました。自信を取り戻し、「やってみよう」と一歩踏み出せる場所を探していたのです。

入学してから、息子の表情は明るくなり、安心して過ごせる時間が増えました。初めてのことに不安が強く、消極的になりがちな息子ですが、今では職員の方々に見守られながら、自分のペースでさまざまなことに挑戦しようとする姿が見られるようになりました。思春期ということもあり、気持ちを表に出すことは多くありませんが、以前より会話が增え、カレッジでの出来事を話してくれることもあります。表情が柔らかくなり、安心して過ごせているのだと感じています。朝、「いってきます」と車から降り、リュックを背負って元気に歩いていく後ろ姿を見ると、それだけで胸がいっぱいになります。あの姿こそが、息子にとっての大きな一歩であり、私たち家族にとっても大きな喜びです。また、少しずつですが将来について自分なりに考えられるようになってきました。以前は想像すらできなかったことです。息子にとって、信頼できる人がいて、相談できる場所があるというのは本当に大きな支えであり、心から感謝しています。これからも、自分のペースでできることを増やし自信を持って前に進んでほしいと願っています。いろいろな活動を通して「できた」「楽しい」と感じる瞬間を積み重ね、同年代のお友だちと過ごす時間も大切にしてほしいと思っています。そして何より、安心して過ごせる環境で過ごせることが一番だと感じています。みらいカレッジの職員の皆さんが息子だけでなく私たち家族にもあたたかく寄り添い、支えてくださっていることに、心から感謝しています。



お知らせ

～はじめての方も安心 オープンキャンパスQ&A～

2027年度も月に1回、オープンキャンパスを開催いたします。
みらいカレッジにご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。
今回は、参加前によくいただくご質問をご紹介します。



Q. 持ち物は必要ですか？

→ 筆記用具をお持ちください。

Q. 服装は制服ですか？きちんとした格好の方がよいですか？

→ ご本人・ご家族ともに、普段着でご参加いただけます。
リラックスした服装でお越しください。

Q. 本人が体験授業に参加できるか不安です。

→ 無理に参加する必要はありません。見学のみや、教室で様子を見るだけでも大丈夫です。ゲームのみ参加するなど、ご本人のペースに合わせてご参加いただけます。

Q. 字を書くのが苦手ですが参加できますか？

→ もちろんご参加いただけます。事前にお知らせいただければ、カードやシールなどで参加できるよう準備いたします。

学校・福祉関係者の皆さままでフライヤーをご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽にお知らせください。ご指定の送付先へお届けいたします。

最高の1枚

～今月のベストショット～

各キャンパスおすすめベストショット

宇美キャンパス



三島キャンパス交流

三島キャンパス



研修旅行宇美キャンパス交流
宇美と言えば...を体験

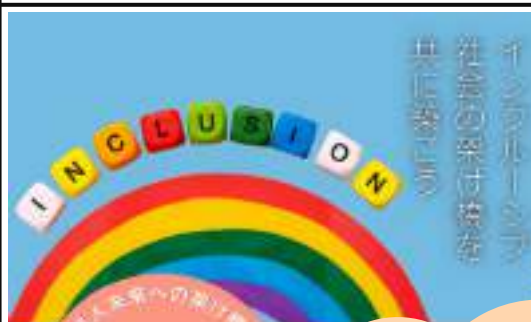
広がる架け橋コミュニティ
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春、山本真知子、石井真人、平野惺也、安岡知美（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

➤福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

➤会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】

法 人	特別会員：10万円
	正 会 員：5万円
	賛助会員：1万円
個 人	特別会員：3万円
	正 会 員：1万円
	賛助会員：3千円



入会特典キャンペーン
代表理事 長谷川正人の
著書を1冊プレゼント！

架け橋の会
会員募集

読者の声・アンケート

～架け橋ひろばを読んで～

「架け橋ひろば」をいつもお読みいただき、ありがとうございます。
皆さまからのご感想やご意見は、私たちにとって大きな励ましであり、活動を続ける力になっています。

これからも心に寄り添えるニュースレターをお届けしてまいります。
よろしければ右のQRコードよりアンケートにご協力ください。

メールでのご感想もお待ちしております。



info@miraicollege.com

お知らせ

～講演会・イベント情報～

みらいカレッジでは、下記のお申し込みを受け付けています。
ホームページまたはメールにてお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
info@miraicollege.com

オープンキャンパス

▷こんな方におススメ

キャンパスの雰囲気や取り組みをじっくり
知りたい方

- ・管理者による概要説明
- ・ご希望に応じて体験授業や個別面談も実施

キャンパス見学

▷こんな方におススメ

実際のプログラムや利用者の様子を見てみ
たい方

- ・ご興味のあるプログラムを見学可能
- ・見学後には管理者との個別相談あり

オンライン説明会

▷こんな方におススメ

日中に時間が取りづらい方、代表理事の話
を聞きたい方、遠方にお住まいの方

- ・ご自宅から参加可能
- ・代表理事 長谷川正人より概要説明

理事による出張講演会

▷こんな方におススメ

代表の想いを直接聞きたい方、団体でのご
参加を検討されている方

- ・ご家族・親の会、教育・福祉関係者の皆様
- ・ご希望のエリアでの出張講演

スケジュール 4月の行事・イベント予定

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでも
ご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
			1 オンライン 説明会	2	3	4
			入学式 (三島)			
5 桜まつり出店 (三島)	6	7	8 オンライン 説明会 お花見 (宇美) 楽寿園散策 (三島)	9	10	11
12	13	14	15 オンライン 説明会	16	17	18 オープン キャンパス (三島)
19	20	21	22 オンライン 説明会 ゴミひろい (三島)	23	24	25 余暇活動 (宇美) 新入生歓迎会 (三島)
26	27	28	29	30		

編集後記

広報部より

4月より新年度を迎えました。新たな利用者さんも加わり、これまで以上ににぎやかな日々が始まっています。環境の変化にドキドキしたり、不安や緊張を感じたりする様子も見られますが、そうした気持ちを大切に見守っていきたいと考えています。

関わる仲間が増えた中で、これからどのような変化や成長が見られるのか、私たちも楽しみにしています。

今月は、静岡県三島市の長伏公園で開催される「さくら祭り」に出店を予定しています。三島キャンパスの利用者さんが制作したストラップやアクセサリなどの手作り雑貨を販売するほか、ワークショップの開催も予定しています。

こうした地域での活動も、利用者さんにとって大切な経験の一つになっています。お近くにお住まいの方は、よろしければぜひお立ち寄りください。



OPEN
CAMPUS
お申込み



MIRAI COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!
一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

〒811-2129
福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1
TEL: 0120-861-821
E-Mail: info@miraicollege.com